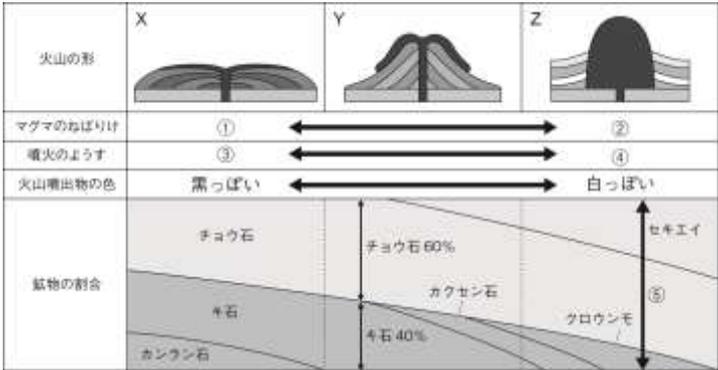


# 解答プリント「中学1年理科・第2分野」

## ■確認プリント

### 8 火山と地震①

【評価の観点】 ㊦：思考・表現    ㊧：技能    ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>1 ㊦ (1)① 小さい／弱い            ㊦ ② 大きい／強い            ㊦ ③ おだやか            ㊦ ④ 激しい            ㊦ (2)A Y            ㊦ B X            ㊦ C Z            ㊦ (3) 有色鉱物の割合が大きいから</p>	<p>1 (1) マグマのねばりけが強いほど溶岩は流れにくく、盛り上がった形の火山（Z）になる。また、ねばりけの強いマグマは火口付近にたまることが多く、火山ガスなどの圧力が大きくなり激しい噴火が起こる。            (2) Zの例「昭和火山」            (3) 有色鉱物の割合が大きいと黒っぽく、無色鉱物の割合が大きいと白っぽく見える。</p>  <p>⑤の岩石は、セキエイ・チョウ石・クローンモの3つの鉱物からできている。</p>
<p>2 ㊦ (1) 場所：地上や地表付近            ㊦ 冷え方：急に冷える            ㊦ (2) 斑れい岩            ㊦ 閃緑岩            ㊦ 花こう岩            ㊦ (3) 等粒状組織</p>	<p>2 (1) マグマが地上や地表付近で急に冷えると大きな結晶にならず、形がわからないほどの小さな粒（石基）の間に比較的大きな鉱物（斑晶）が散らばって見える。このようなつくりを斑状組織という。また、このような岩石を火山岩という。            (2)(3) マグマが地下深くで長い時間をかけて冷えたため、それぞれの結晶がじゅうぶんに成長し、鉱物の大きさが大きく、同じような大きさの鉱物が組み合っている。このようなつくりを等粒状組織という。            また、このような岩石を深成岩という。            深成岩には、斑れい岩、閃緑岩、花こう岩があり、鉱物の割合によって色がちがう。</p>